

株主のみなさまへ

No. 15
2010年12月

第32期 事業報告書

平成21年10月1日 ▶ 平成22年9月30日



Special Teaching and Education by Professionals

株式会社 **STEP** 株主通信

“子どもを元気にする塾”



CONTENTS/目次

STEPスクール地図	1
今年のTOPICS	2
What's STEP	4
STEP by STEP	5
業績の推移	6
損益計算書の要旨	7
貸借対照表の要旨	9
株主資本等変動計算書の要旨	10
株式の状況	11
第33期業績予想	12
会社の概要・株主メモ	13

中学部

独自入試実施校11校

湘南・横浜翠嵐など894名合格で全塾中No.1!

東京学芸大附属高校に55名(うち外進生52名)合格!

高校入試合格実績、さらに躍進!

東京学芸大附属高校に55名合格(うち外進生52名)

ステップ生の通学圏内で最難関のひとつ、国立東京学芸大学附属への合格実績が順調に伸びています。2010年度入試では、外部進学生用の一般枠102名のうち、ステップからは52名が合格し、初めて全塾中No.1となった昨年の実績30名をさらに上回りました。

2010年度
東京学芸大附属高校
合格発表風景



神奈川県公立トップ高校1,582名合格!

2010年度入試では、神奈川県公立トップ高校に、1,582名が合格しました。これは、ステップから県内公立高校に合格した生徒の43.0%に相当します。そのうち名門・厚木や横浜の伝統校・希望ヶ丘など13校で塾別合格者数がNo.1となっています。

独自入試実施校11校894名合格で全塾中No.1

2010年度入試では、学力向上進学重点校を中心に、湘南、横浜翠嵐、柏陽、平塚江南、小田原、横須賀など11校が自校作成問題による独自入試を実施しました。ステップからは894名が合格し、塾別合格者数トップを続けています。そのうち県内最難関で、今年のノーベル賞受

賞者、根岸英一氏の母校でもある湘南にはステップから186名が合格し、募集人員の約52%をステップ生が占める圧倒的No.1です。

「神奈川県公立トップ作戦」進行中!

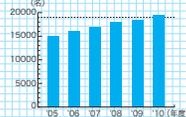
1986年に湘南で合格者数トップ(53名合格)として以来、神奈川県各学区のトップ校合格者数No.1を目指す「トップ作戦」を進めてきました。湘南では25年間、No.1を継続しているのを始め、1990年に大和、1993年に茅ヶ崎北陵、1997年に希望ヶ丘、2000年に秦野、2001年に平塚江南、2002年に小田原で全塾中No.1としました。また激戦を続けてきた厚木で2002年に初の単独トップ、相模原も2003年にと、相次いでトップを奪取し、以降、追従を許さず全塾中No.1を継続しています。また理系を中心に大学合格実績を伸ばす柏陽や、マスコミ等で話題の市立横浜サイエンスフロンティアなどでも、次々に全塾中トップとしました。

2009年春に初めて3スクールを開校した横須賀地区では、トップ高校の横須賀に24名が合格(昨年13名)。また、横浜北部地区には2010年3月に新たに3スクールを開校。これにより横浜翠嵐高校、および地元の川和高校への合格者数のいっそうの躍進をはかります。

生徒数19,000名突破!

*各年度とも、10月末の在籍生徒数です。

生徒数は順調に推移しています。
中学部・高校部合わせて総生徒数
19,000名を突破しました。



校舎の移転・拡充

中学部
高校部

中学部・高校部で新校舎建設!

授業ビデオ配信「e-STEP」のコンテンツが充実!

校舎の移転・拡充を進める!

中学部の藤沢・鶴間・鶴ヶ峰スクールなどを移転開校!

高校部の厚木校・相模原校の新校舎建設中!

2010年度は、中学部5スクールを移転しました。藤沢スクール・鶴間スクールなどでは新校舎を建設。高校部では、厚木校と相模原校の2校が、来春の移転開校に向け、新校舎建設中です。いずれも広いラウンジや自習室を完備するなど、快適な学習環境作りを進めています。



大学受験ステップ
厚木校完成
イメージ



授業ビデオ配信「e-STEP」を拡充

中学部・高校部ともにコンテンツが充実

授業映像を社内ネットワーク、及びインターネットを使って塾生対象に配信するシステムを構築。予習や復習、あるいは授業を欠席したときなど、いつでも自宅でその単元を学習できます。中学部・高校部ともにコンテンツを拡充しており、年内にほぼ一通り基本形を完成できる予

定です。ステップ主催で行った高校ガイダンスなど、イベントの様子も配信しています。

「STEPパス」システムを活用

中学部:入退室をメールでお知らせ

生徒の入退室をメールでご家庭にお知らせするシステム「STEPパス」を中学部全スクールに設置。通塾の行き帰りを心配されていた保護者の方から大変好評です。また、お知らせ等の臨時メールを一齐にご家庭に送ることもできます。

高校部:生徒とのメールによる連絡網を構築

高校部では各校舎で、STEPパスシステムを活用した生徒へのメール連絡網を設置し、より密なフォロー体制を構築しています。

高校部:10校舎体制でさらに充実

10校体制で現役合格を応援する高校部は、受験形態の多様化に対応したシステム作り、環境作りを進めています。生徒数はいずれの学年も昨年を上回り、とりわけ現高2生は昨年比+19%(10月末現在)と拡大しています。

●ブルキナファソへ～「栄養失調児センター」への資金援助～●

ステップでは教師・スタッフをはじめ生徒たちの協力も得て、ボランティア活動に取り組んでいます。その一つがアフリカ・ブルキナファソの「栄養失調児センター」運営維持費の資金援助です。ステップでは1997年から、この活動を続けてまいりました。

ブルキナファソとはアフリカ内陸にある世界で最も貧しい国の一つで、近年はまったく雨の降らない年が続き、深刻な飢餓がー帯をおそっています。「栄養失調児センター」では、経済事情により病院や健康センターなどの有料施設に行くことのできない人々を受け入れ、無料で治療を行いつつ、食料の自給自足を目指し、母子たちとともに耕作などの共同作業を行っています。

「ブルキナファソ栄養失調児センター」のホームページ <<http://www.cren.jp/>>

1 高校受験ステップ (中学部)

1.専任教師制が軸 充実した教師研修システム

非常勤講師を相当数採用している学習塾が多い中で、ステップは質の高い教師養成のために専任教師軸という基調を貫いています。生徒をサポートするには質の高い授業が決め手だと考え、研修に力を入れ、教師同士で繰り返す模擬授業を中心に、技術と学力を磨き合い、高技術をもった専門職として育てています。例えば英語では、ネイティブのコーチのもと、リスニング、会話などのレベル別研修が行われており、教師の実力向上を目指しています。

2.コミュニケーションを大切に生徒指導 1クラス定員 小学生16名 中学生20名

生徒全員の顔と名前が分かるように、1クラスの定員は小学生16名、中学生20名に。毎日生徒たちが「今日も来て良かった」と思えるように、授業内容、教材などの工夫を繰り返しています。質の高い授業こそ、子どもの減少や競争に負けない最強の戦略。生徒や保護者の信頼を財産とし、神奈川県全域への密度の濃い展開を進めています。

高校受験ステップ
研修の様子



2 大学受験ステップ (高校部)

生徒参加型の少人数制の授業

大学受験ステップは、大手予備校タイプの大人数教室で教師が壇上に立って一方的に話す形の授業ではなく、双方向のコミュニケーションを大事にしています。高校部は「生徒参加型の少人数制の授業」がモットーです。

難関大学合格をめざすスーパークラス・チャレンジクラスの他、ハイレベルクラスやスタンダードクラス、さらには高校対応のクラスや個別指導など、多様なクラス編成で現役高校生のニーズに对应しています。高校対応のクラスは数学などで各高校のカリキュラムに対応した授業を行います。ロスの少ない合理的システムで現役合格をバックアップします。

大学受験ステップ
相模原校完成
イメージ



3 本部—各スクール校舎を繋ぐ

ノーツ・ネットワーク・システムがフル稼働 教師1人にパソコン1台 ネットワーク完成

ステップの全スクールと本部各部署は、ノーツ・ネットワーク・システムで結ばれています。中学部・高校部とも毎日、各部署からの連絡、スクールや教師からの様々な情報等が、各スクールと本部、各スクール間でスムーズに行き来し、素早い対応が可能になっています。また、各教科のデータベースに、全ての教師がアクセスでき、その教科に関する意見や、質問、討議が可能です。

スピードアップがもっとも顕著なのが、講習時に毎日行う全教科のテスト集計と結果発表。各スクールで入力されたテストの点数がノーツを通してデータ管理室に集められ、本部コンピュータで、順位、偏差値などが出され、スクールに送信されます。そして、出力され、次の日には生徒一人ひとりに渡されます。つまり、毎日、小中学生約16,500人分のテスト結果と、それぞれのステップ内での順位が翌日には生徒個人の手が届くというスピードです。

4 個別指導ステップ (K-STEP)

一人ひとりのニーズに合わせた授業

2002年秋に個別指導専門スクールを藤沢に開校。2005年春には平塚にも開校しました。さらに高校部各校舎にも個別指導専門のK-STEPを設置。マンツーマンでの授業を基本とし、特定教科の集中学習を希望する人、私立高校に通う人等々、生徒一人ひとりの異なったニーズに対応したカリキュラムで授業を進めています。さらに中学生対象のマンツーマンの講座も設置しています。



ワクワク理科実験教室

湘南海岸に理科実験合宿施設 “湘南シーサイド・ラボ”

子どもたちが理科実験を通して自然の不思議に興味をもち、科学の楽しさを実感してくれたら、と湘南シーサイド・ラボを設置。充実した理科実験室を備えた生徒と教師のための宿泊できる研究・研修所として、96年春に開設しました。

理科実験室では、「ワクワク理科実験教室」や「ワクワク理科実験合宿」を開いています。2010年度は、昨年よりも多い7回の理科実験教室、理科実験合宿を実施。例年の6月に加え8月や10月にも親子理科実験教室を開催し、親子そろって理科のおもしろさに触れる試みを行っています。



ワクワク天体観測

厚木西スクールに設置された天体望遠鏡は、コンピュータ・フル制御の最新鋭システムです。宇宙の不思議に興味シンシンの生徒たちが、土星の輪や火星、星雲などを観望しています。親子での参加も歓迎しています。



高校別入試ガイダンス

合格への道筋を鮮明にするために、ステップが総力をあけて開催する「高校別入試ガイダンス」。各高校に焦点を絞って入試結果を徹底解析し、前期選抜、後期選抜第1次選考、後期選抜第2次選考合格への合理的作戦などを紹介します。私立ガイダンスも実施しています。



ステップ主催 オープンキャンパス

生徒・保護者対象に、ステップ主催で当該の私立高校で開催しています。日大藤沢高校、東海大相模高校などで実施してきました。高校の先生にご説明していただき、さらにステップの教師が詳しい情報等をお伝えします。

日大藤沢高校でのオープンキャンパスの様子

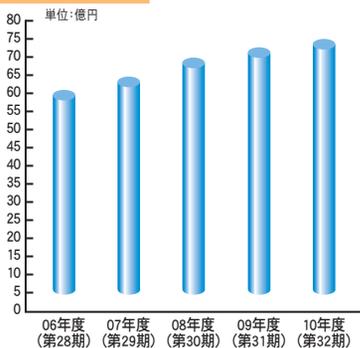


ステップ・ミュージック・フェスティバル(SMF)

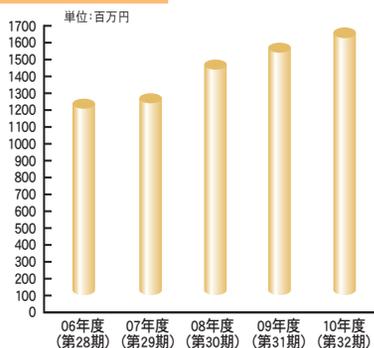
3月、音楽が大好きな教師による卒業コンサートを開催しています。ロックバンドやギターを弾き語り、ピアノ演奏など、毎年、熱気あるステージとなります。



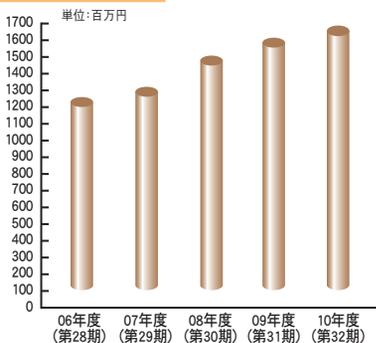
売上高



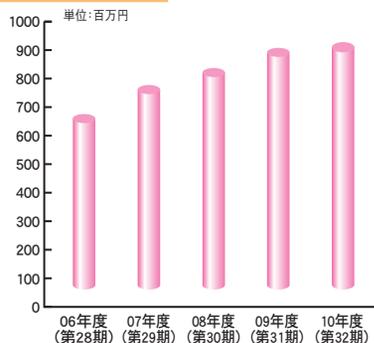
営業利益



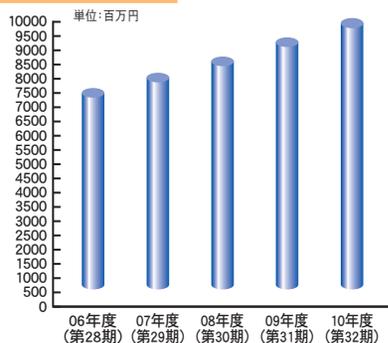
経常利益



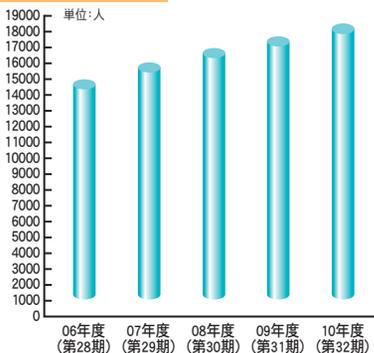
当期純利益



純資産



生徒数



生徒数は、期中平均の在籍生徒数です。

当期業績の概要

当社は、神奈川県を地盤とする学習塾です。現在、107スクールのすべてを県内にドミナント展開し、小学校5年生から高校3年生まで、地域の生徒たちの健全な成長を学習面でサポートしています。社内には高校受験をめざす小中学生部門(小5～中3生)と大学受験をめざす現役高校生部門(高1～高3生)があります。

学習塾としての当社の特徴として自負している点は、日々改善をめざした努力を継続している授業の質と進学面での実績です。特に高校入試の実績では、今年の春、高校受験に臨んだステップ生のうち1,582名が県内の公立トップ高校に合格しました。これは県内公立高校に合格した当社生徒の43.0%に相当します。さらに公立高校の中でも入試勝負の色合いが濃い「学力向上進学重点校」(自校作成入試問題導入校)10校を見ると、そのうち6校において塾別の合格者数でステップがトップとなっています。また近年、当社生徒の通学圏内で最難関のひとつと位置づけられる国立東京学芸大附属高校への合格実績も順調に伸びています。今春は、同校の外部進学生用の一般枠102名のうち、ステップからの合格者が52名となりました(昨年春の当社実績は30名)。

また、当社に在籍する生徒が、授業を欠席したときや自宅での復習が必要ときに、インターネットを通して重要単元を自宅でいつでも自由に受講できる授業配信システム(e-STEP)は、スタート以来順調にコンテンツを増やしてきましたが、小中学生、現役高校生の両部門において、年内にほぼ一通りの基本形を完成できる予定です。今後はさらに改善を重ね、自宅学習の有力なツールとして磨きをかけていく予定です。

現役高校生部門については、部活に励む、学校行事に打ち込む等、現役生ならではの一人一人の多彩な高校生活との両立を応援する方向で学習指導を行う体制をめざしてきました。そして現在も進行中の受験形態の多様化に対応したシステム作り、環境作りを進めています。今後も、中学生部門を有した学習塾としての強みを活かしながら現役高校生部門の質的強化をはかっていきたいと考えています。

当社は、地元の生徒・保護者の期待に応えながら、「日々指導技術の研鑽を怠らず、一人一人の生徒と向き合いながら、学力向上に真摯に取り組んでいく」方向性をまっとうしたいと努力しています。

そのためにも、これまで以上に教師一人一人の授業力アップに力を注ぎ、教師層の厚みを増し、組織力の向上に努め、ステップ全体の教務力、スクール運営力のレベルアップをはかります。

スクール数は現状、小中学生部門が95スクール、現役高校生部門は10校、個別指導部門2校の計107校です。今春3月、横浜市北部の港北ニュータウン方面の3スクールを含む5校の新スクールを小中学生部門で開校しました。

生徒人数は順調に推移し、小中学生部門、現役高校生部門ともに学年による差異はあるものの、全体の当期中平均は前年同期比4.7%増となっています。

以上の結果、当期の売上高は7,378百万円(前年同期比3.5%増)、営業利益は1,667百万円(前年同期比6.2%増)、経常利益は1,668百万円(前年同期比5.5%増)、当期純利益は912百万円(前年同期比2.4%増)となりました。

なお、当社は経済産業省が後援し、社団法人全国学習塾協会が認定しております学習塾のサービス格付けにおきまして、全国トップレベルの評価で最高ランク(AAA)の格付けを取得しております。また、経済産業省の外郭団体であります財団法人日本情報処理開発協会と社団法人全国学習塾協会が認定するプライバシーマーク使用許諾を取得いたしております。

当社は今後も全社的にコンプライアンス(法令遵守)体制の強化をはかってまいります。

なお、社会貢献活動におきましては、アフリカのブルキナファソの「栄養失調児センター」に対する資金援助を行っております。

損益計算書 (単位:百万円)

*百万円未満切捨

科目	前期	当期	増減
売上高	7,131	7,378	246
売上原価	4,968	5,117	148
売上総利益	2,163	2,261	97
販売費及び一般管理費	592	593	0
営業利益	1,570	1,667	97
営業外収益	92	98	5
受取利息	1	0	△0
受取家賃	68	72	4
その他	22	24	1
営業外費用	81	97	15
支払利息	22	36	14
賃貸費用	58	52	△5
その他	0	7	7
経常利益	1,581	1,668	87
特別損失	55	100	45
固定資産除却損	0	9	8
投資有価証券評価損	12	-	△12
減損損失	42	91	48
税引前当期純利益	1,525	1,567	41
法人税・住民税及び事業税	639	663	24
法人税等調整額	△4	△7	△3
当期純利益	890	912	21

部門別売上高

事業部門別の売上高は、次の通りです。

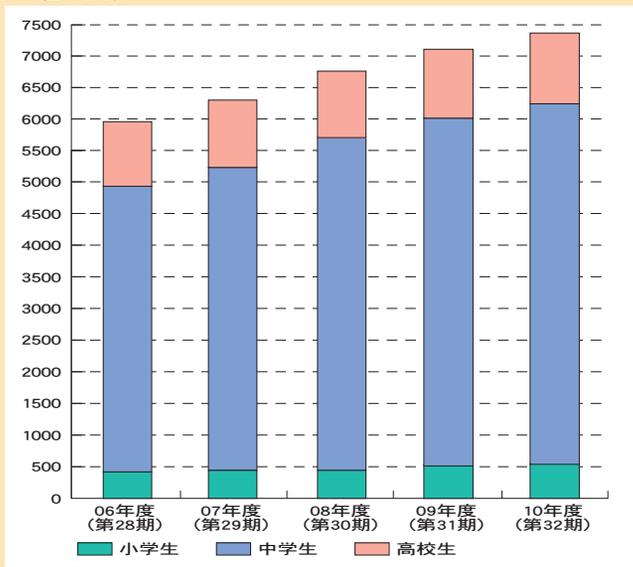
小中学生部門

小中学生部門は生徒数が期中平均で4.0%の増加等により、6,233百万円(前年同期比3.8%増)となりました。

現役高校生部門

現役高校生部門は生徒数が期中平均で9.2%の増加等により、1,145百万円(前年同期比1.8%増)となりました。

単位：百万円



部門別売上高明細表

(単位：百万円)

区分	期別	前期		当期		比較増減 金額
		売上高	構成比 (%)	売上高	構成比 (%)	
小中学生部門	小学生	508	7.1	519	7.0	10
	中学生	5,498	77.1	5,714	77.4	215
	小計	6,006	84.2	6,233	84.5	226
	現役高校生部門	1,125	15.8	1,145	15.5	20
	合計	7,131	100.0	7,378	100.0	246

貸借対照表(単位:百万円)

*百万円未満切捨

科目	前期	当期	増減	科目	前期	当期	増減
資産の部				負債の部			
流動資産	1,263	1,741	477	流動負債	1,542	1,634	91
現金及び預金	883	1,433	550	一年返済予定の長期借入金	722	883	161
有価証券	142	37	△104	未払金	104	77	△27
前払費用	87	97	10	未払法人税等	344	360	15
その他	151	173	21	その他	370	312	△58
貸倒引当金	△1	△1	△0	固定負債	1,451	2,328	876
固定資産	11,026	12,173	1,146	長期借入金	1,209	2,068	859
有形固定資産	10,400	11,578	1,177	その他	242	259	17
建物及び構築物	3,079	4,260	1,180	負債合計	2,994	3,962	968
土地	6,515	6,726	210				
その他	805	591	△214	科目	前期	当期	増減
無形固定資産	32	27	△4	純資産の部			
投資その他の資産	593	566	△26	株主資本	9,304	9,962	658
投資有価証券	13	13	△0	資本金	1,329	1,329	—
差入保証金	431	416	△15	資本剰余金	1,402	1,402	—
その他	148	136	△11	資本準備金	1,402	1,402	—
資産合計	12,290	13,914	1,623	利益剰余金	6,661	7,320	658
				利益準備金	137	137	—
				その他利益剰余金	6,524	7,183	658
				別途積立金	97	97	—
				繰越利益剰余金	6,426	7,085	658
				自己株式	△88	△88	△0
				評価・換算差額等	△8	△11	△2
				その他有価証券評価差額金	△8	△11	△2
				純資産合計	9,296	9,951	655
				負債・純資産合計	12,290	13,914	1,623

株主資本等変動計算書(単位:百万円)

*百万円未満切捨

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金		
				別途積立金	繰越利益 剰余金		
前期末残高	1,329	1,402	1,402	137	97	6,426	6,661
当期中の変動額							
剰余金の配当						△253	△253
当期純利益						912	912
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の 当期中の変動額(純額)							
当期中の変動額合計	—	—	—	—	—	658	658
当期末残高	1,329	1,402	1,402	137	97	7,085	7,320

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	其他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計	
前期末残高	△88	9,304	△8	△8	9,296
当期中の変動額					
剰余金の配当		△253			△253
当期純利益		912			912
自己株式の取得	△0	△0			△0
株主資本以外の項目の 当期中の変動額(純額)			△2	△2	△2
当期中の変動額合計	△0	658	△2	△2	655
当期末残高	△88	9,962	△11	△11	9,951

株価推移 (週足)

資料: 大阪証券取引所



株式の状況 (平成22年9月30日現在)

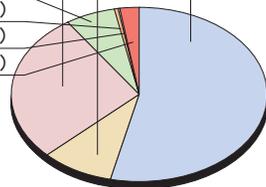
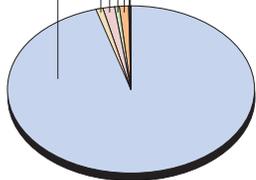
発行済株式の総数 15,320,000株

株主数 1,133名

所有者別株式分布

単位: 千株

個人・その他	1,088名 (96.03%)	個人・その他	8,230 (53.72%)
金融機関	8名 (0.71%)	金融機関	1,420 (9.27%)
国内法人	18名 (1.59%)	国内法人	4,230 (27.61%)
外国人	4名 (0.35%)	外国人	983 (6.42%)
証券会社	13名 (1.15%)	証券会社	55 (0.36%)
保管振替機構名義株式	1名 (0.09%)	保管振替機構名義株式	1 (0.01%)
自己名義株式	1名 (0.09%)	自己名義株式	401 (2.62%)



来期の見通し

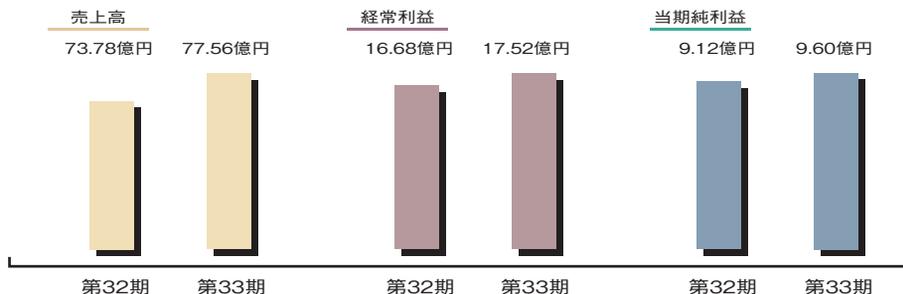
神奈川県の出入試制度を見直す「入学者選抜制度検討協議会」が、この7月にスタートしました。同協議会の検討結果が実際の入試制度に反映されるのは、早くても再来年の春と予想されています。しかし、検討結果の公表は来春4月の予定ですから、その内容によっては小中学生部門の今後の展開への影響も予想されます。現状では、内申点を中心に合否が決まると言っている現行の前期選抜（広義での推薦入試）の大幅な見直しが狙い上のぼっています。その結果次第では、当社の特徴である強力な教務力、進学指導力が活かせる学力検査（入学試験）の比重がさらに高い制度に移行する可能性もありますが、未定だからではありません。いずれにしても、弛まぬ努力で教務力の向上、その延長線上での合格実績の伸長をはかりながら、生徒人数増にも繋げていきたいと考えています。

当社が注力している現役高校生部門は、少子化と大学定員の拡大を主たる原因とする大学入試における競争の緩和による環境変化が進行中ですが、小中学生部門同様に、今後とも授業内容の高品質化と進学指導力の向上に努めていきます。

学習塾業界は少子社会の進行の中で、激しい競争下にあります。当期中の当社の生徒募集は比較的順調でしたが、今後については予断を許しません。次期以降も、常にアンテナを鋭敏に張って状況変化に迅速に対応する努力を積み重ね、適正な業容の拡充に努めます。また、中長期的視点からの開拓すべきニーズ、深耕すべきマーケットをしっかりと分析し準備していきたいと思えます。

なお、来春の新スクールの開校は、当社のドミナントエリアを中心に小中学生部門で3~4スクールを予定しています。

通期の業績は、売上高7,756百万円（前年同期比5.1%増）、経常利益1,752百万円（前年同期比5.0%増）、当期純利益960百万円（前年同期比5.2%増）を見込んでいます。



業績予想数値は、平成22年11月4日に大阪証券取引所（JASDAQ市場）へ提出した決算短信に記載したものです。

当社の経営の基本方針

当社は学習塾を広い意味で「生徒サポート産業」と考え、「子どもたちを元気にする塾」をコンセプトに「楽しくて、かつ力がつく」授業をモットーとしてきました。生徒たちの健全な成長を学習面で応援し、生徒たちの学力向上を通して社会に貢献することが設立以来の基本理念です。

これを実現するため、以下の5項目を経営の基本方針としています。

- ① 学習塾専門に徹し、経営資源を専門分野に集中的に投下する。
- ② スクールは、神奈川県内に集中して展開する。
- ③ 学習サービス内容の高品質化を不断に追求する。
- ④ 県内公立トップ高校への進学実績No.1を堅持し、さらに難関国私立高校への合格実績を一層向上させる。
- ⑤ 公立高校生を中心とした地元現役高校生をサポートする大学受験STEPの発展を推進する。

神奈川県では、最近、入試や学区制度の相次ぐ改革、大学進学実績の向上、教育内容の多様化等、公立高校の復権が進んでいます。当社の小中学生部門は、公立高校の基盤が比較的強固な地域を中心にドミナント展開を行ってきたことが強みとなり、この公立高校の復権を追い風としています。この傾向は今しばらく続きそうです。

現役高校生部門は、大学入試の実質的な全入化に近い状況の中で、学校生活の充実と大学受験への対応力養成という現役高校生ならではの二つの大きなニーズへのバランスのとれた対応が課題です。一人ひとりの多彩な高校生活の状況を丁寧に把握した上で学習指導を行う体制の構築、受験形態の多様化に対応したシステム作り、環境作り等に全力でチャレンジしているところです。今後とも小中学生部門と並ぶ経営の柱として、現役高校生部門の発展をはかります。

商号 株式会社ステップ
 証券コード 9795
 本部 〒251-0052 藤沢市藤沢602番地
 TEL 0466-20-8000(代)
 事業内容 ■高校受験STEP
 小5から中3までの学習・受験指導
 ■大学受験STEP
 高1から高3までの現役高校生対象の大学受験指導
 スクール 神奈川県内 107スクール (平成22年10月現在)
 教材研究課 藤沢市湘南台2-1-19
 印刷配送センター 藤沢市大庭5681-25-2

COMPANY DATA
 創業 昭和50年1月
 設立 昭和54年9月
 資本金 13億2905万円
 代表取締役 龍井郷二
 社員数 712名(正社員522名、その他190名)
 営業地域 神奈川県内

株主メモ

決算期 9月30日
 定時株主総会 12月
 利益配当金 9月30日
 支払株主確定日
 1単元の株式数 1,000株

公告の方法 当社ホームページに掲載します。
<http://www.stepv.co.jp>

ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
 中央三井信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 東京都港区芝三丁目33番1号
 中央三井信託銀行株式会社 本店
 同事務取扱所 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 証券代行事務センター(〒168-0063)
 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)
 同取次窓口 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
 日本証券代行業株式会社 本店および全国各支店

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

上場株式配当等の支払いに関する通知書について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

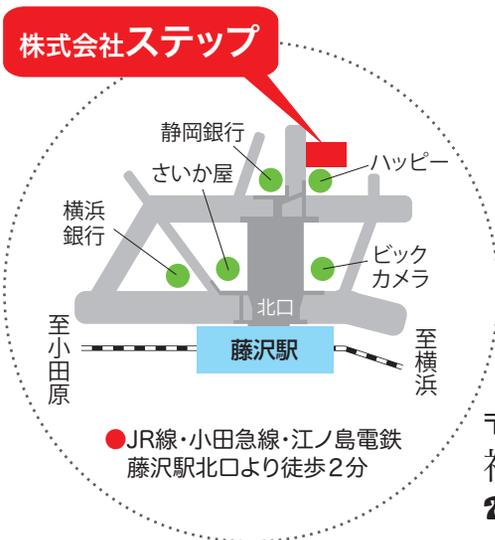
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、本年より配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

(お知らせ)

特別口座に関する住所変更、単元未満株式買取請求、振替申請および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、右記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

- フリーダイヤル
0120-87-2031 (24時間受付:自動音声案内)
- ホームページ
http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

株式会社STEP 株主通信



〒251-0052
神奈川県藤沢市藤沢602
☎0466-20-8000(代)